

2022年11月改訂(第1版)

日本標準商品分類番号

872331

貯法：30℃以下で保存

消化酵素剤

承認番号 16000AMZ00831

有効期間：3年

日本薬局方

販売開始 1952年3月

ジアスターゼ

ジアスターゼ シオエ

Diastase SIOE

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

2.1 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：ジアスターゼ（diastase）

性状：本品は淡黄色～淡褐色の粉末である。

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	ジアスターゼ シオエ
有効成分	1g 中 日本薬局方ジアスターゼ 1g

3.2 製剤の性状

販売名	ジアスターゼ シオエ
性状	本剤は淡黄色～淡褐色の粉末である。 本剤は、吸湿性である。

20. 取扱い上の注意

開封後は、湿気を避けて保存すること。

22. 包装

500g（アルミ袋）、1kg（アルミ袋）

23. 主要文献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店. 2021 : C-2131 - C-2133

4. 効能又は効果

主として炭水化物の消化異常症状の改善

24. 文献請求先及び問い合わせ先

シオエ製薬株式会社 製品情報担当

〒661-0976

兵庫県尼崎市潮江3丁目1番11号

TEL 06 (6470) 2102

FAX 06 (6499) 8132

6. 用法及び用量

ジアスターゼとして、通常成人1回0.3～0.5gを1日3回食後に経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

シオエ製薬株式会社

兵庫県尼崎市潮江3丁目1番11号

26.2 販売

日本新薬株式会社

京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	発疹等

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

本剤は麦芽を原料とする植物アミラーゼに属し、 α 、 β の両アミラーゼがあり、両者ともにでんぷんに作用する。麦芽アミラーゼの至適pHは弱酸性（pH4.5～5.5）であり強酸、強アルカリで失活する。従って、本薬を消化薬として用いる場合には、食物が胃液と混合する前に作用させる必要がある¹⁾。